

第 5 回定例研究会プログラム決定のお知らせ

2013 年 6 月 10 日

国際安全保障学会会員各位

先にお知らせした、第 5 回定例研究会(7 月 6 日[土]、於同志社大学今出川キャンパス)のプログラムが決まりましたのでお知らせします。

今回も多数の応募があり、厳正な審査の結果、6 人の会員に報告をお願いすることになりました。それぞれの報告に対しては、当該分野で業績・経験の豊富な討論者がコメントします。

どうか、奮ってご参加下さい。

さらに、終了後には懇親会を開催したいと思います。これまでの各回はいずれも大盛況で、院生・若手とベテランとのよき交流の場ともなりました。関西で定例研究会を開催するのは初めですが、懇親会にも是非ご参加下さい。詳細は、プログラムの末尾をご覧ください。

定例研究会小委員会委員長 神谷万丈

同委員・関西地区定例研究会実行委員長 村田晃嗣

1 参加事前申し込みのお願い

第 5 回定例研究会に参加をご希望の会員は、以下の指示に従い、次の学会アドレスにお申し込み下さい。

info*is-japan.org (*を@に変えて送信をお願いします)

①「件名」欄に

【第 5 回定例研究会参加申し込み】

と**【 】**も含めて)必ず記載して下さい。

②本文には、

・ご氏名、ご所属、お肩書

・現時点での参加希望セッション(セッション 1、セッション 2、セッション 3 のように数字で)を記載して下さい。

⇒報告者のレジュメ準備の参考にいたしますので、よろしくお願いします。

・懇親会参加希望の場合のみ、「懇親会参加希望」と書き添えて下さい。

◎申し込みメールは、6 月 30 日(日)までにお送り下さい。

申し込みなしでの当日参加もできますが、会場やレジュメの準備の都合上、できるだけ締め切りまでにお申し込み下さい。また、懇親会については、必ず事前にお申し込み下さい。

2 会員以外の方の参加について

今回も、会員以外の方にも無料でご参加いただけることとします。

つきましては、安全保障、防衛、国家戦略などの問題に関心をお持ちのお知り合いがいらっしゃいましたら声をかけていただければ幸いです。

◎なお、その際、このメールの内容やプログラムとともに、以下の4点もお伝えいただきますようお願いいたします。

(1)ご参加に際しては、当日受付にてお名前とご連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)をご記入いただきます。

(2)この機会に、当学会にご入会いただき、会員として活動することをご考慮いただければ幸いです。入会手続き等については、当日受付にてチラシを配布する予定です。(ただし、入会には理事会による審査がございますので、ご了解下さい。)

(3)会員でない方も、6月30日(日)までに、上記アドレスに申し込みメールをお送り下さい。

①その際、件名欄には

【非会員・第5回定例研究会参加申し込み】

と(【 】も含めて)必ず記載して下さい(非会員と必ず明示して下さい)。

②本文には、

・ご氏名、ご所属、お肩書き

・現時点での参加希望セッション(セッション1、セッション2、セッション3のように数字で)を記載して下さい。

(4)懇親会にもご参加いただけますが(これまでの懇親会には、会員でない方も多数参加されました)、院生・若手会員への優遇措置は適用されませんので、ご了解下さい。

(5)なお、これから第5回定例研究会までの間に入会申請書類を学会事務局に提出し、受理が確認されれば、理事会での承認が得られていなくとも暫定的に会員扱いといたします。申請を完了された方は、上記アドレスにその旨ご一報下さい。

国際安全保障学会

第5回定例研究会

2013年7月6日（土曜日） 13時00分～17時45分

同志社大学（今出川キャンパス）

寧静館5階会議室

キャンパスマップ：

http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html?neiseikan_building#campusmap

および本プログラム末尾を参照

【ご注意】

- ・会場の位置については、上のキャンパスマップで事前に必ずご確認ください。
- ・今出川キャンパスへのアクセスへのリンクは、上の URL 中にあります。
- ・本プログラム末尾に添付したマップは過去に使用されていたものですが、会場の位置はこちらの方が視覚的にわかりやすいと思います。ただし、烏丸通に面した新棟建設予定地には、実際には既に建物が建っておりますのでご注意ください（寧静館はその東隣りです）。
- ・当日は、主要なゲートに案内を出す予定ですが、それがなくとも会場に到着できるようにして下さい。
- ・長時間の休憩は1回だけです。飲み物等は、事前に購入してお持ち込みになることをお勧めいたします。

受付開始：12時30分

開会：13時00分

総合司会： 中谷直司（同志社大学助教）

開会の言葉 国際安全保障学会理事・定例研究会小委員会委員長
神谷万丈（防衛大学校教授）

実行委員長挨拶 国際安全保障学会理事・関西定例研究会実行委員長
村田晃嗣（同志社大学学長）

会長挨拶 国際安全保障学会会長
高木誠一郎（日本国際問題研究所研究顧問）

セッションⅠ：13時15分～14時35分

- 【テーマ 戦前・戦中の日本の生存戦略】
- 研究報告1 1930年代初頭における国家生存戦略の変容
——外務省アジア派による日中提携路線の追求
- 報告者 湯川勇人（神戸大学大学院法学研究科博士後期課程）
- 研究報告2 旧日本海軍による原子力研究の誕生と終焉
- 報告者 田中慎吾（大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程）
- 討論者 中西寛（京都大学教授）
- 司会・討論者 村田晃嗣

セッションⅡ：14時40分～16時00分

- 【テーマ 安全保障の諸相】
- 研究報告1 ベトナム戦争後のアメリカ海兵隊のドクトリン改訂に関する一考察
- 報告者 阿部亮子（同志社大学法学研究科博士後期課程）
- 研究報告2 ASEANのメンバーシップ、1966-67
——不信緩和の地域協力制度に着目して
- 報告者 井原伸浩（神戸大学大学院法学研究科特命講師）
- 討論者 栗栖薫子（神戸大学教授）
- 司会・討論者 村田晃嗣

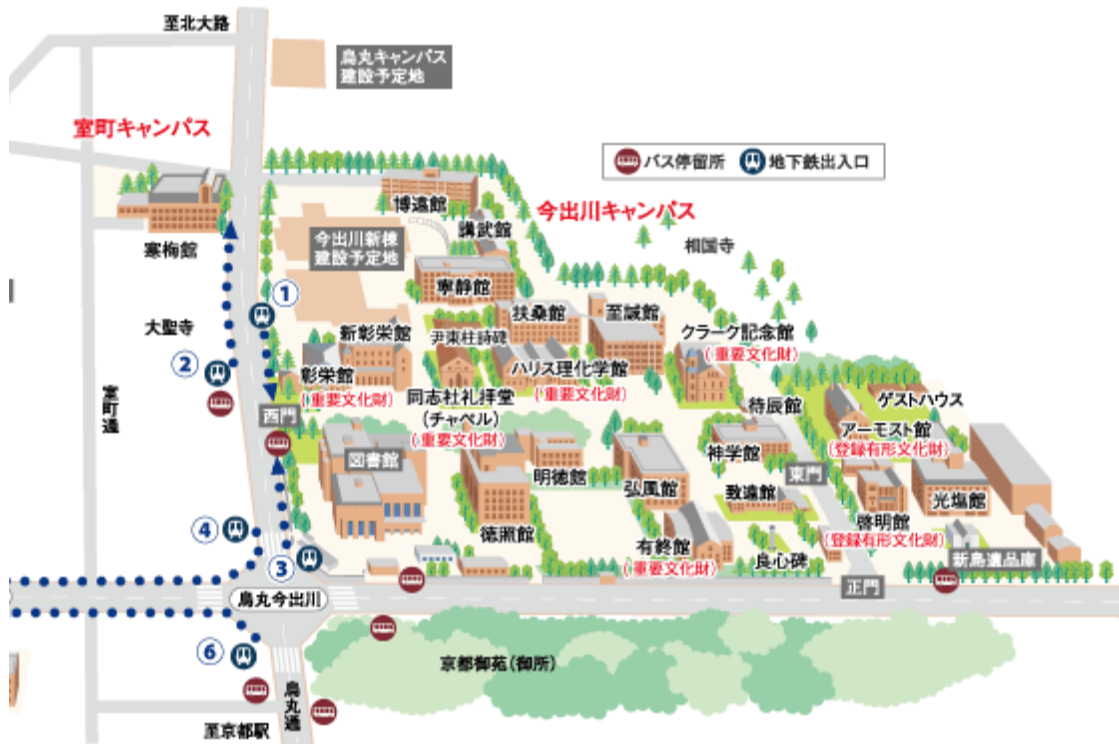
[休憩]

セッションⅢ：16時25分～17時45分

- 【テーマ 国際介入をめぐる】
- 研究報告1 国連加盟国はなぜ「保護する責任」に合意したのか
- 報告者 政所大輔（神戸大学大学院法学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員DC2）
- 研究報告2 シリア危機はなぜ長期化しているのか？
——変容する叛乱勢力と国際介入のジレンマ
- 報告者 溝渕正季（日本学術振興会特別研究員〔PD〕／東京外国語大学／
ハーバード大学ケネディ公共政策大学院ペルファー科学・国際関係センター研究員就任予定）
- 討論者 神谷万丈
- 司会・討論者 松村昌廣（桃山学院大学教授）

閉会

キャンパスマップ



懇親会のご案内

- ・終了後、会場近隣の店にて懇親会を行います。奮ってご参加下さい。
 - ・会費については、これまで同様、院生・若手の会員（パーマネント・ポジションについていない方）への優遇措置を考えております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。おおむね、一般 4500 円、院生・若手 3000 円程度を目安に会場を探します。
- ◎会場予約の都合上、参加希望者は、必ず事前の申し込みをお願いします。会場は、当日お知らせします。